

業務用ロスナイ システム部材
微弱風量運転ユニット

形名

PZ-24BJU (単相100V用)

PZ-24BJUD (単相200V用)

取付工事説明書

微弱風量運転ユニットは夜間不在となる居室に設置されたロスナイに取付け、ロスナイを微風で常時運転させるものです。

- 取付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
- また、ロスナイ本体の取付工事説明書も併せてご覧ください。
- 取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。(お客さま自身で工事しないでください)

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

- ご使用前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しくお使いください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

警告		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
 風呂・シャワー室での使用禁止	浴室内取付けや雨水がかかるような屋外取付けはしない	 指示に従い必ず行う
 分解禁止	火災や感電の原因になります	
 水ぬれ禁止	改造や必要以上の分解はしない	
 ぬれ手禁止	火災・感電・けがの原因となります	
 水ぬれ禁止	水につけたり・水をかけたりしない	端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する
 ぬれ手禁止	ショートや感電のおそれがあります	接続に不備があると火災のおそれがあります
		配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者である電気工事士が安全・確実にを行う
		コネクタの接続は確実に行ってください
		接続不良や誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります

注意

誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 取付けの際は手袋を着用する (着用しないとけがをすることがあります)
- 電線を端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子または閉端接続子などを使用して確実に接続する (使用しないと火災などの原因になることがあります)

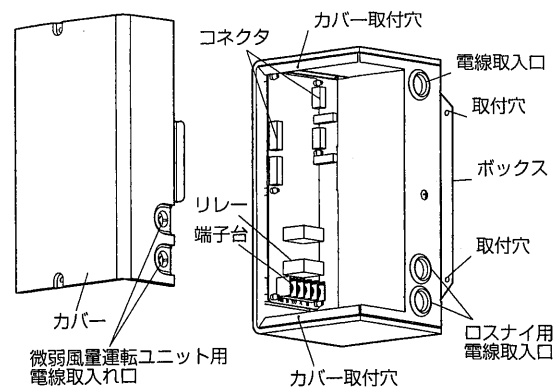
お願い

寒冷地(北海道、東北の一部)での24時間運転は冬季に結露するおそれがありますので断熱材貼付等、別途対策が必要です。

適用機種

適用ロスナイとコントロールスイッチはカタログの適用機種一覧表で確認してください。
※この微弱風量運転ユニットはリレーボックス、フリープランアダプタ寒冷地運転用回路との併用はできません。

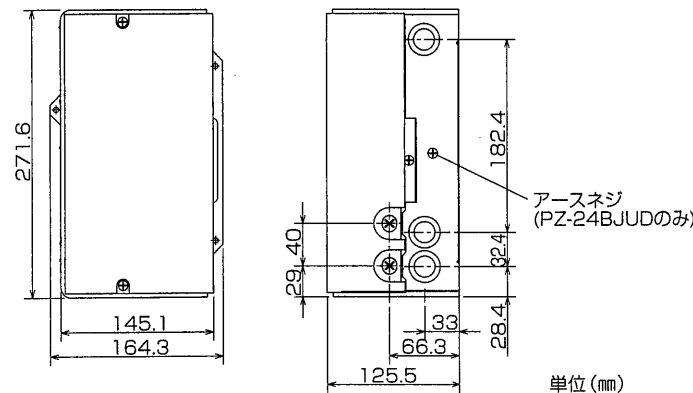
各部のなまえ



付属部品

- 接続コードA……1セット
- 接続コードB……1セット (スタンダードタイプでは使用しません)
- 銘板……1セット

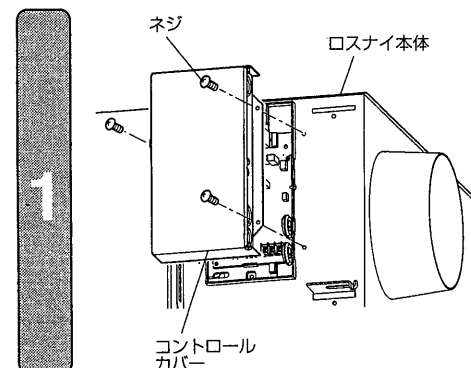
外形寸法図



取付方法

本図はLGH-50Rタイプにて説明しています。

必ず元電源を「切」の状態で行う。



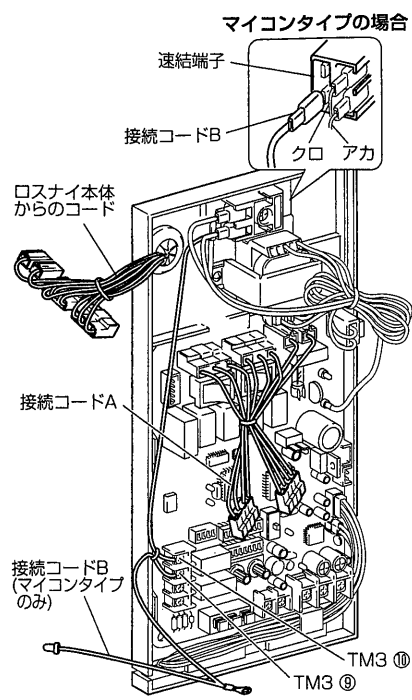
コントロールカバーを取りはずす

1. ロスナイ本体に取付けられているコントロールカバーのネジ3本をはずして取りはずす。
2. 取りはずしたコントロールカバーに貼り付けられている銘板と同じ銘板(付属部品)を微弱風量運転ユニットのカバーに貼り付ける。

お願い

- はずしたネジは微弱風量運転ユニットの取付けに使用しますのでなくさないでください。

2



コネクタを差し替える

ロスナイ本体からロスナイの制御基板に接続されているコードのコネクタをはずして微弱風量運転ユニットに同梱の接続コードAに差し替える。
(ロスナイ本体からのコードは後で微弱風量運転ユニットに接続する)

ロスナイ本体がマイコンタイプの場合のみ

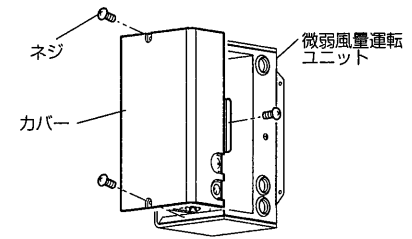
接続コードAを接続後、ロスナイの速結端子に接続コードBを左図のように接続する。

- 接続コードBは速結端子の赤のコード側に接続してください。端子(小)をロスナイ本体の基板のモータ出力端子(TM3)の⑨⑩に接続してください。
(詳細な結線図はロスナイ本体の取付工事説明書をご覧ください)

お願い

- コネクタをはずす際は基板に垂直方向にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引き抜くと基板が破損することがあります。
- 基板にコネクタを差し込む際はコネクタの色を合わせて差し込んでください。
- コードが1本のコネクタは、コードの色が基板に表示してありますので色を確認して差し込んでください。
- コネクタはしっかりと差し込んでください。
- 結線図(5,6ページ)をよく見て結線してください。

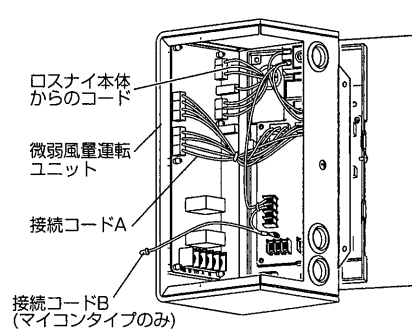
3



微弱風量運転ユニットのカバーを取りはずす

微弱風量運転ユニットのネジ3本をはずしてカバーを取りはずす。

4



微弱風量運転ユニットに接続する

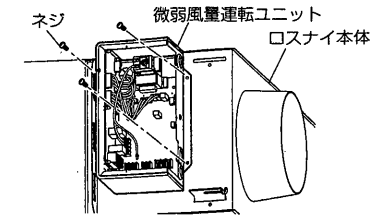
ロスナイ本体から出ているコードと、②で取付けた接続コードAを微弱風量運転ユニットの基板に接続する。

お願い

- 基板にコネクタを差し込む際はコネクタの色を合わせて差し込んでください。
- コードが1本のコネクタは、コードの色が基板に表示してありますので色を確認して差し込んでください。
- コネクタはしっかりと差し込んでください。
- 結線図(5,6ページ)をよく見て結線してください。

取付方法 つづき

5

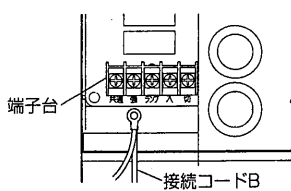


微弱風量運転ユニットの取付け

①でははずしたネジ3本で微弱風量運転ユニットをロスナイに取付ける。

6

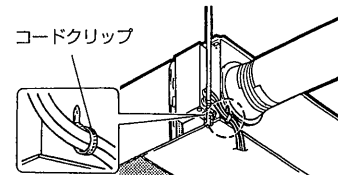
ロスナイ本体がマイコンタイプの場合



接続コードBの接続

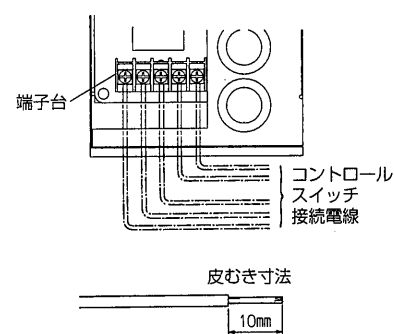
接続コードBの端子(大)を微弱風量運転ユニットの端子台「強」に接続する。

電気工事



コードクリップで固定する

ロスナイ本体用の電源線およびコントロールスイッチの接続電線、微弱風量運転ユニット用の接続電線をロスナイ本体に取付けられたコードクリップで固定する。
(詳しくはロスナイ本体の取付工事説明書をご覧ください)



コントロールスイッチとの接続

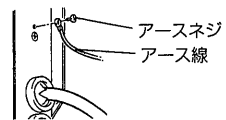
コントロールスイッチ接続電線(単線φ1.6 例VVF)は結線図を参照し、コードプッシュを通して端子台に接続する。

お願い

- 電源を通すコードプッシュのみ切り込みを入れてください。
- 電線の皮むき寸法は10mmとしてください。皮むき寸法が長すぎると芯線同志が接触して短絡するおそれがあります。
- 微弱風量運転ユニットとコントロールスイッチ間は、100m以内としてください。(誤動作するおそれがあります)

ロスナイ本体がマイコンタイプの場合のみ

別売スイッチ(PZ-24S、PZ-24SD)の③に接続するコード(お客さま手配)は、付属の接続コードB先端に取付けてある閉端接続子を切断し皮むきのうえ閉端接続子で接続するなど確実に接続および絶縁処理をする。



単相200Vの場合、アース工事をする

コントロールボックスカバーに締め付けてあるアースネジをはずして、アース線を取付ける。

結線図 ※太線部分を結線する

- PZ-24SまたはPZ-24SD 1台で微弱風量運転ユニットを10台まで運転できます。
- PZ-24SW、PZ-24SWD等で複数台の微弱風量運転ユニット付ロスナイを運転する場合は決められた台数(カタログ・納入仕様書に記載)で運転してください。

お願い

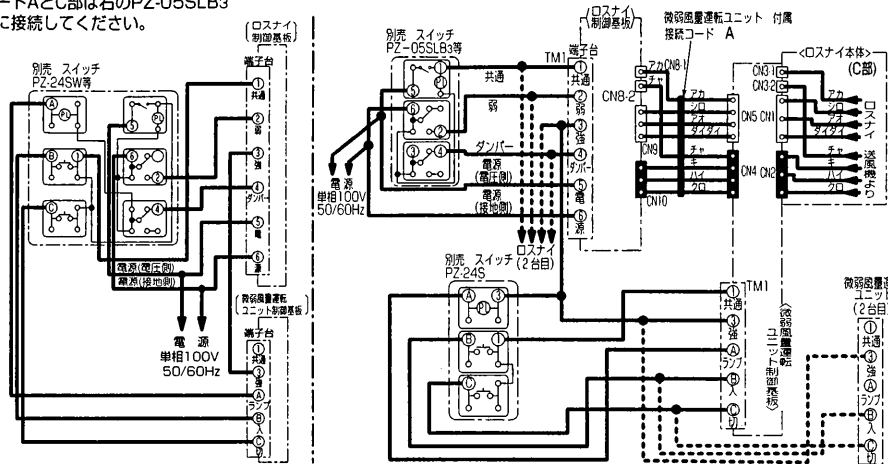
- 結線を間違えますと、ファンが回らなかったり、微弱風量運転ユニットが破損することがあります。各コネクタ同士の色および基板の表示を確認して間違いのないように結線してください。
- 複数台運転の場合は1台目と2台目以降の電源電線の極性を合わせてください。合っていないと回路が破損します。
- ロスナイとコントロールスイッチ間および複数台運転のロスナイ間の配線長合計は100m以内としてください。(誤動作するおそれがあります)

■PZ-24BJU

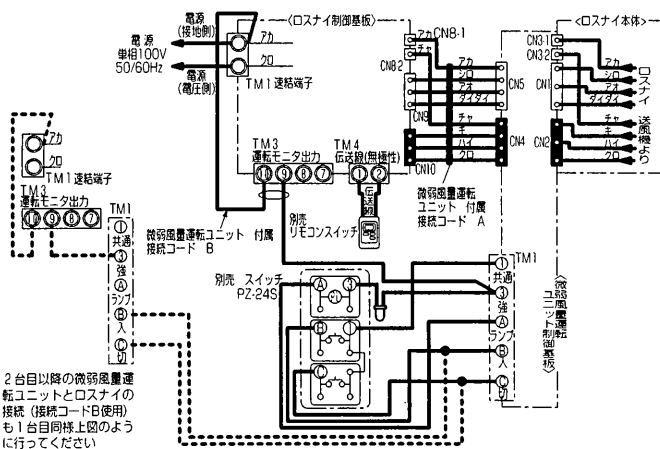
スタンダードタイプ

PZ-24SW等を使用した場合
接続コードAとC部は右のPZ-05SLB3-Dと同様に接続してください。

※下記は回路図を示し、コネクタの配置は現品と異なります。コネクタの表示と色を確認して接続してください。



マイコンタイプ



2台目以降の微弱風量運転ユニットとロスナイの接続(接続コードB使用)も1台目同様上図のように行ってください

電源は1つの漏電ブレーカーから供給する

複数台運転を行う際に各ロスナイに漏電ブレーカーを1個ずつ設置すると、漏電ブレーカーの入出力電流にアンバランスが生じ漏電ブレーカーがしゃ断する可能性があります。

取付方法 つづき

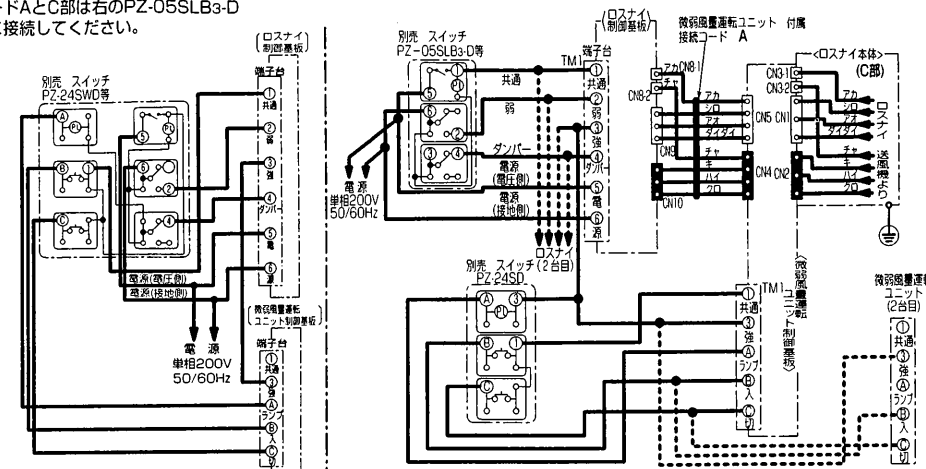
■PZ-24BJUD

スタンダードタイプ

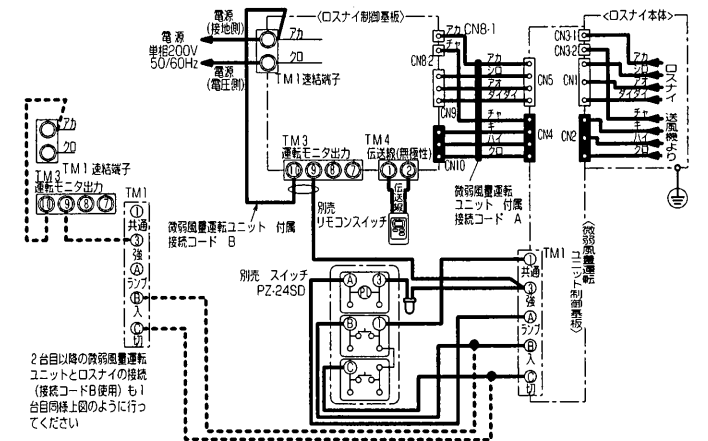
PZ-24SWD等を使用した場合

接続コードAとC部は右のPZ-05SLB3-Dと同様に接続してください。

※下記は回路図を示し、コネクタの配置は現品と異なります。コネクタの表示と色を確認して接続してください。



マイコンタイプ



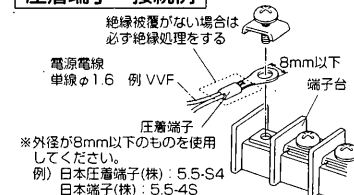
2台目以降の微弱風量運転ユニットとロスナイの接続(接続コードB使用)も1台目同様上図のように行ってください

電源は1つの漏電ブレーカーから供給する

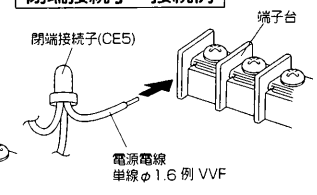
複数台運転を行う際に各ロスナイに漏電ブレーカーを1個ずつ設置すると、漏電ブレーカーの入出力電流にアンバランスが生じ漏電ブレーカーがしゃ断する可能性があります。

端子台接続時のご注意

圧着端子 接続例

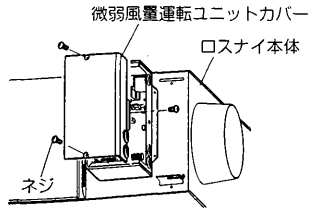


閉端接続子 接続例



⚠ 注意

電源線、連絡電線などを端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子または閉端接続子などを使用して確実に接続する。使用しないと漏電・火災などの原因になることがあります



微弱風量運転ユニットカバー取付け
 微弱風量運転ユニットのカバーのネジ3本を締め付けてカバーを固定する。

結線の確認

電源は1つの漏電ブレーカーから供給する 複数台運転を行う際に各ロスナイに漏電ブレーカーを1個づつ設置すると、漏電ブレーカーの入出力電流にアンバランスが生じ漏電ブレーカーがしゃ断する可能性があります。

本体の取付工事が終わりましたら、通電する前に結線が間違っていないか確認する。

■組合わせ表 スタンダードタイプの場合

	電源	形名	コントロールスイッチ形名
ロスナイ本体	単相 100V	LGH-15~100RS4	PZ-05SLB3または
		LGH-15~50CS4	PZ-20SLB
ロスナイ本体	単相 200V	LGH-15~100RS4D	PZ-05LB3-Dまたは
		LGH-15~50CS4D	PZ-20SLB-D
微弱風量運転ユニット	単相 100V	PZ-24BJU	PZ-24S
	単相 200V	PZ-24BJUD	PZ-24SD

- ロスナイ本体端子台⑤⑥を短絡モードに誤結線されますと、回路が破損します。
- 微弱風量運転ユニット①③を短絡モードに誤結線されますと、回路が破損します。
- 複数台運転のとき各ロスナイへの電源供給の極性が違っていると回路が破損します。

必ず元電源を「切」の状態での確認を行う。

1. ロスナイ本体のコントロールスイッチの電源スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「普通換気」にする。
2. 微弱風量運転ユニットのコントロールスイッチの「夜間運転」ボタン、「昼間運転」ボタンを押す。(ビニールテープ等でボタンを固定し、押したままの状態にしておいてください)
3. 抵抗の測定(ロスナイ本体)
 ロスナイの端子台⑤⑥にテスターを当て、抵抗を測定する。ほぼ0Ω(1Ω以下)が出ると誤結線です。結線図を見て正しく結線し直す。

■組合わせ表 スタンダードタイプ(PZ-24SW、PZ-24SWDを使用した)の場合

	電源	形名	コントロールスイッチ形名
ロスナイ本体	単相 100V	LGH-15~100RS4	PZ-24SW
		LGH-15~50CS4	
微弱風量運転ユニット	単相 200V	PZ-24BJU	PZ-24SWD
		LGH-15~100RS4D	
		LGH-15~50CS4D	
		PZ-24BJUD	

- ロスナイ本体端子台⑤⑥を短絡モードに誤結線されますと、回路が破損します。
- 微弱風量運転ユニット①③を短絡モードに誤結線されますと、回路が破損します。
- 複数台運転のとき各ロスナイへの電源供給の極性が違っていると回路が破損します。

必ず元電源を「切」の状態での確認を行う。

1. ロスナイ本体端子台の③と微弱風量運転ユニットの端子台の③が接続されていることを確認する。
 微弱風量運転ユニット端子台の①に何も接続されていないことを確認する。
2. スwitchを以下のようにする。
 電源スイッチ……入
 強弱切換スイッチ…弱
 機能切換スイッチ…普通換気
 夜間運転ボタン……押す ※夜間運転ボタンと昼間運転ボタンは押した状態で固定しておく
 昼間運転ボタン……押す
3. ロスナイ本体端子台の⑤、⑥にテスターを当て、抵抗を測定する。ほぼ0Ω(1Ω以下)が出ると誤結線です。結線図通りに結線し直す。

取付方法 つづき

■組合わせ表 マイコンタイプの場合

	電源	形名	スイッチ形名
ロスナイ本体	単相 100V	LGH-15~100RX4	リモコンスイッチ PZ-42SM等
		LGH-15~50CX4	
ロスナイ本体	単相 200V	LGH-15~100RX4D	リモコンスイッチ PZ-42SM等
		LGH-15~50CX4D	
微弱風量運転ユニット	単相 100V	PZ-24BJU	コントロールスイッチ PZ-24S等
	単相 200V	PZ-24BJUD	コントロールスイッチ PZ-24SD等

■微弱風量運転ユニット①③を短絡モードに誤結線されますと、回路が破損します。

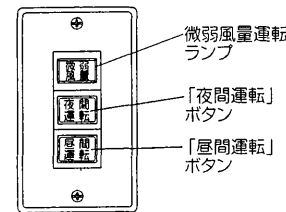
必ず元電源を「切」の状態での確認を行う。

1. 微弱風量運転ユニットのコントロールスイッチの「夜間運転」ボタン、「昼間運転」ボタンを押す。(ビニールテープ等でボタンを固定し、押したままの状態にしておいてください)
2. 抵抗の測定
 微弱風量運転ユニットの①③にテスターを当て、抵抗を測定する。ほぼ0Ω(1Ω以下)が出ると誤結線です。結線図を見て正しく結線し直す。

試運転

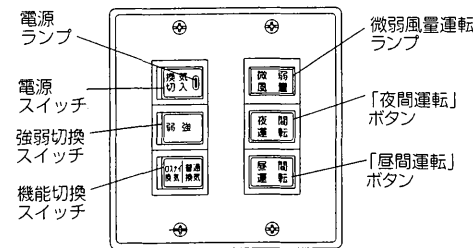
元電源を入れ次の確認を行う。

システム部材(別売)
 微弱風量運転用コントロールスイッチ
 PZ-24SまたはPZ-24SD等



1. ロスナイ本体のコントロールスイッチ(マイコンタイプの場合はリモコンスイッチ)の電源スイッチを「入」にする。
 2. 「夜間運転」ボタンを押したときに電源ランプが点灯し、ロスナイの給気・排気の風が強から微弱に切り換わるか確認する。
 3. 「昼間運転」ボタンを押したときに電源ランプが消灯し、ロスナイの給気・排気の風が微弱から強に切り換わるか確認する。
- 詳しくは、コントロールスイッチに付属の取付工事・取扱説明書を参照してください。

システム部材(別売)
 微弱風量運転用コントロールスイッチ
 PZ-24SWまたはPZ-24SWD等



1. 電源スイッチを「入」にし、強弱切換スイッチで「強・弱」を切り換えたとき、ロスナイの給・排気の風が強・弱に切り換わるか確認する。
 2. 機能切換スイッチを「普通換気」・「ロスナイ換気」に切り換えたとき、ロスナイ本体内のダンパーが切り換わるか確認する。
 3. 強弱切換スイッチを「強」にする。
 4. 「夜間運転」ボタンを押したとき、スイッチのランプが点灯し、ロスナイの給・排気の風が微弱に切り換わるか確認する。
 5. 「昼間運転」ボタンを押したとき、スイッチのランプが消灯し、ロスナイの給・排気の風が強に切り換わるか確認する。
- 詳しくは、コントロールスイッチに付属の取付工事・取扱説明書を参照してください。

お願い

- ロスナイを運転していないときに「夜間運転」ボタンを押しても微弱運転になりません。
- 微弱運転する際は、ロスナイの電源スイッチを「入」にしてから30秒以上経過してからにしてください。
- 「夜間運転」ボタン、「昼間運転」ボタンはゆっくり確実に操作してください。
- 微弱運転中に停電(落雷等で発生する瞬間的な停電も含む)が発生すると「微弱運転」が解除され、停電復帰後「強」または「弱」の運転となります。

